

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 10 日

事務事業名		岩瀬駅前広場管理運営事業					事業区分		担当	
政策体系上の位置付け							新規/継続	継続	事務事業No.	040501000772
政策体系	総合計画の施策名		0405 住環境の整備と景観の形成				単独/補助	単独	所属課	060201
	政策名		04	快適で潤いのある生活環境づくり			主要事業	対象外		都市整備課
	施策名		05	住環境の整備と景観の形成			市長マニフェスト	対象外		
	基本事業名		01	住生活環境の整備			未来PJ事業	対象外	グループ	整備・管理G
財務会計上の位置付け							合併建設計画事業 <td>対象外</td> <td></td>		対象外	
事業期間										
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度～)			
	01	08	04	02	02	00	岩瀬駅前広場管理事業			
法令根拠	↳ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入									

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>岩瀬駅前広場は、JR水戸線岩瀬駅前に平成18年度に整備されたもので、駐輪場と駐車場のほかトイレと多目的スペース、ロータリーがある。</p> <p>管理業務委託によりトイレの清掃、寄せ植えの剪定、除草、清掃等を実施して維持管理に努め、桜川市の玄関口としてふさわしい清潔さを保つ。</p> <p>H21年度に駅前広場整備で竣工した駅前ロータリー、トイレも含めた形で一体管理となった。</p>	<p>トイレの清掃管理はシルバー人材センターへ委託し週3回(月水金)実施する。緑地帯はボランティアを動員して芝桜、パンジー等の植栽を実施した。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
トイレの清掃管理はシルバー人材センターへ委託し週3回（月水金）実施する。緑地帯はボランティアを動員して芝桜、パンジー等の植栽を実施した。	トイレの清掃回数	回	156.00	156.00	156.00	156.00	156.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
鉄道を利用する通勤・通学者および桜川市民	桜川市の人口	人	43,190.00	42,444.00	42,048.00	41,652.00	41,256.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
通勤通学時に安全・快適に利用してもらう。	JＲ水戸線を年に数回以上利用している市民の割合	%	40.80	42.70	45.00	47.00	50.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	15	15	145	145	0
			一般財源	千円	1,043	895	1,258	1,258	0
	事業費計（A）		千円	1,058	910	1,403	1,403	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	
		述べ業務時間	時間	356.00	359.00	350.00	350.00	350.00	
		人件費計（B）	千円	1,033	1,041	1,015	1,015	1,015	
トータルコスト(A)+(B)			千円	2,091	1,951	2,418	2,418	2,418	
事業費の内訳	27年度事業費 実績（千円）					28年度事業費 予算（千円）			
	11 需用費		439			11 需用費		570	
	13 委託料		398			13 委託料		740	
	14 使用料及び賃借料		64			14 使用料及び賃借料		93	
	18 備品購入費		9						
				合 計	910			合 計	1,403

(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <p>・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業</p>				

事務事業名	岩瀬駅前広場管理運営事業	事務事業No.	40501000772	所属課	都市整備課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
平成18年度岩瀬駅前広場整備事業により駐輪・駐車場が整備され、その後、トイレ・多目的スペース・ロータリーが整備された。駐車場は月極利用のみ駐車場として管理運営を開始したが、一時利用の要望が多いことから19年度より月極め及び一時利用の駅前駐車場管理運営事業を実施している。駅前整備により、以前より駐車場利用者の利便性がはかられ、環境的にもよくなっている。また平成24年度に生活安全課により防犯カメラを設置。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
鉄道利用者より、駐車場だけではなく駅前広場等の整備についても要望が寄せられていた。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 岩瀬駅前広場の整備は、鉄道利用者の利便性の向上になり、利用者の増加にも繋がり、安全で快適な住環境の整備に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 桜川市の玄関口として、市が管理することは妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない トイレの清掃は定期的に行い、花壇には花を植えたり除草をしたりして美化に取り組んでいるため向上の余地がない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 多くのJR利用者や市民が利用するにあたり、清潔で快適な状態を維持できなくなるため影響がある。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業は特にない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 清潔で快適な利用ができるようにするため削減の余地がない。また、既に植栽事業や除草作業を直営で行っており、事務遂行にあたっては人件費削減はむずかしい。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 多くの地域住民が利用する管理事業であり、公正公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		JRの乗降客や市民のやすらぎと快適な環境整備のため、緑地帯に草花を育てる。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 緑地帯の土壌が悪く草花が育ちににくい現状にある。土を入れ替えるなど土質の改善が求められる。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価		確認欄	
<input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		<input type="checkbox"/>	